



ていじせい 定時制の旋風

2024年 9月号

発行者 教頭 松本康一

県立小野工業高等学校 定時制課程

「進路実現に向けて」

9月16日(月)から就職試験が始まります。受験希望の4年生と三修制の3年生はこの夏休みを有意義に活用出来ましたでしょうか。中にはほぼ毎日学校に来て、筆記試験の勉強をしていた生徒もいますが、受験企業の研究や面接練習は進んでいますでしょうか。

「受験できる会社 = 入社できる会社」ではありません。

あくまでも小野工業高校から推薦を受けて受験をするチャンスをもらうだけなのです。後は、他校の生徒との競争です。筆記試験で合格点に達していない、または、点数はまずまずだったが面接で働く意欲を感じさせなかった、などの理由で不合格になるという話もよくあることです。

では、面接官はどのようなところから受験生を判断していると思われますでしょうか。面接の時間は短くて5～6分です。その短い間に、受験生のすべてを知ることは、いくらベテランの面接官でも不可能です。しかし、その受験生の「意欲や適性」はどうにかして知りたいわけですから、面接官は、その短い時間にポイントを絞って幾つかの質問を与え、受験生を観察することになります。だから受験生は、その短い時間での受け答えや第1印象が、合否に大きな影響を与えることになるということを知って面接に臨むことが必要になります。

面接ではだいたい

- ① 「志望動機」
- ② 「目的意識」
- ③ 「会社、企業のことをどれくらい知っているのか」

の3点について特に重点を置いて質問されます。皆さんは、「なぜ、この会社(職業)」を選んだのか。「どのように自分を活かしたいのか。」について、

自分なりの考えをしっかりと持っておけば大丈夫です。あとは面接にふさわしい服装で、ハキハキと明るく自分自身をアピールすると良いと思います。

この高校時代に、自分をアピールできるものを沢山持つことができるようにしておくことが必要です。就職試験が今年度ではない生徒の皆さんも、このことは頭の片隅にでも置いて、日々過ごして頂きたいと思います。また、働き出した後のことも考え、言葉遣いや生活態度にも日頃から気をつけておいてください。地道な努力や何かを乗り切った経験が多い人ほど、後々の人生が豊かなものとなっていきます。

学校行事

【わいわい小学生工作教室】 8月6日(火)

小野市立コミュニティセンターおのにて、小野市内の小学生(応募者多数のため抽選で選ばれました)対象に工作教室を開催しました。本校からは有志の生徒達が先生役となり、小学生にマスキングテープカッター台の製作の手助けをしてくれました。以下が参加者(小学生・保護者)の感想です。



- ・作って楽しかったし、うれしかった。ほめてもらったし、いい作品ができて楽しかった。
- ・子どもが笑顔で過ごせて良かったです。ありがとうございます。
- ・本格的な作品だったので大変そうでしたが、良い作品が出来上がり、嬉しそうで良かったです。機会があれば次回も参加したいです。

(文責 教頭 松本 康一)